

教科	美術	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色の基礎	3	色のもつ特徴や効果を理解し、作品制作の中で効果的に利用できるようにする。	○三原色、色の三属性(明度、色相、彩度)の内容や特徴、違いについて理解している。		○身の回りの色に関心を持ち、さまざまな色を発見するなど、活動に取り組もうとしている。
レタリング	3	字体の効果やレタリングの技法を理解し、作品制作の中で効果的に利用できるようにする。	○明朝体やゴシック体などの字体やその特徴について理解している。 ○字体を理解しながら、レタリングとして字を書き表すことができる。		○字体やその効果に関心を持ち、レタリングをする活動に取り組もうとしている。
文字のデザイン	10	色や字体の効果に関心を持ち、漢字の持つイメージを字体や色と組み合わせながら創造的に絵に表す。	○レタリングの知識を理解しながら、字を書き表すことができる。(技)	○漢字の持つイメージと形や色彩のもつイメージを組み合わせながら、表現方法を工夫し、創造的に表している。	○色や字体に関心を持ち、創造的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
立体作品(塑像)		身の回りのものやモチーフに関心を持ちながら、材料の形や色彩、質感などからイメージを広げて主題を生み出し、材料の組み合わせ方や用具を工夫して立体で表す。	○材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを観察し全体のイメージで捉えることを理解している。 ○粘土などの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	○材料を見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、創造的に表している。 ○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す。 ○作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

モダンテクニック	5	モダンテクニックによる偶然に生まれる色彩や形に親しみを持ち、できた作品から発想や構想を広げて制作することで見方や感じ方を深める。	○モダンテクニックの技法などを理解している。(知)	○偶然生まれた色彩や形から発想や構想を広げて、創造的に表すことができる。	○モダンテクニックに関心を持ち、形や色彩に対して様々工夫し、試そうとするなど、積極的に活動に取り組もうとしている。
伝えるデザイン	4	相手に伝えるということなどデザインの機能を理解しながら、自分の伝えたい内容に合わせて創造的に表し、伝える活動をするで見方や感じ方を深める。	○形や色彩の効果を理解して適切に使用することができる。(技)	○意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。	○デザインする活動に関心を持ち、相手に伝わるように表現方法を工夫するなど、積極的に表現の活動に取り組もうとしている。 ○作者の表そうとした意図などを感じ取ろうとするなど、積極的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
作家探究	4	画家や作家、制作した作品に関心を持ち、資料などから調査し作家が表そうとしたもの、作家の視点に触れ、見方や感じ方を深める。		○調べたことを基に、その内容を表す表現方法を意図に応じて工夫し、創造的に表している。	○画家や作家、制作した作品に関心を持ち、調べる学習に積極的に取り組もうとしている。
写真表現	4	写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、被写体やモチーフから主題を生み出し、構図の効果を考え構想を練るなどして創造的に表す。	○カメラの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。(技)	○被写体やモチーフから自分なりの視点で主題を生み出し、創造的に表している。	○写真を撮る活動に関心を持ち、構図や角度を工夫するなど、積極的に取り組もうとしている。

教科	美術	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
遠近法	9	遠近法を理解し、色彩や形などを創意工夫して、奥行きを絵画で表現することで、平面に表すことの可能性や平面に空間をあらわす技法の面白さに気づき、造形的な見方、感じ方を深める。	○透視図法、等角投影図法、斜投影図法などの遠近法に関する知識を理解している。(知) ○遠近法を適切に使用し、遠近感を表すことができる。(技)	○遠近法を理解し、主題を生み出し、意図に応じて形や色彩などを創意工夫しながら表現している。	○絵画の中に空間をあらわす技法である遠近法に関心をもち、表現・鑑賞の活動をしようとしている。
私の見つけた美	2	身の回りの世界を見つめなおし、生徒が「美しい」と感じたものを紹介することで、自分なりの見方、考え方に気づき、深める。	/	○写真の構図や角度などを創意工夫しながら表現している。	○「美」、「美しさ」という概念に関心をもち、身の回りの世界を「美しい」という視点で捉えようとしている。
抽象立体木彫	13	「抽象」という概念を捉えて自分なりに主題を生み出し、木を彫りだすという技法で表現することで、見方、考え方に気づき、深める。	○素材の特性や技法、彫刻刀などについて理解している。(知) ○素材や道具を適切に利用して意図に応じて適切に表現できる。(技)	○意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して創造的に表している。	○抽象の概念、木という素材や木から彫りだすという技法に関心をもち、表現・鑑賞の活動をしようとしている。
アニメーション表現	4	アニメーション表現について関心をもち、技法理解のうえで、コマ撮りで表現することで、見方、感じ方を深める。	○アニメーション表現の技法や効果を理解している。(知) ○アニメーション表現の技法や効果を理解して、意図に応じて適切に利用し、表すことができる。(技)	○アニメーション独自の表現から主題を生み出し、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して創造的に表している。	○アニメーション表現に関心をもち、静止しているものを動かそうとしている。
漫画表現	4	印象的な場面や瞬間のイメージなどから主題を生み出し、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、ペンなどの用具の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を考え、創造的に表現する。	○漫画表現の効果や造形的な特徴などを理解している。(知) ○ペンなどの用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表せている。(技)	○印象的な場面や瞬間のイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や強調、コマ割りや背景などの効果を考え、創造的な工夫をして表現している。	○印象的な場面などを漫画表現として表すために、構想を練ったり意図に応じて表現方法を追求して創造的に表したりする活動、作品を鑑賞し深める活動に取り組もうとしている。

教科	美術	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
篆刻	14	篆刻の役割を理解しながら、自分の名前を表す印に関心を持ち、石という素材形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。	○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や技法などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	○人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
修学旅行関連の美術	4	修学旅行の事前学習として、実際に訪れる地域・文化財に関連する美術作品を鑑賞することで、それらに関心を持ちながら、作品の背景、素材や技法などの理解することで見方、感じ方を深める。事後学習として実際に鑑賞したものを踏まえて、美術文化の継承に対してどのように向かい合うか考えることで、作品に対する見方、考え方を深める。	○作品のもつ造形的な特徴、作品の素材や技法に関する知識や制作された背景などを理解している。(知)	○作品や文化財に対して自分自身がどのように関わっていくか、文化の継承のためになにをすべきなのかを自分なりの視点で考える。	○作品や文化財などに関心を持ち、美術文化の継承にどのように向かい合うか考えようとしている。
工芸	4	「用」と「美」の側面がある日本の工芸作品に関心を持ち、背景や技法などの理解しながら、工芸の中で縁起物でもあるだるまの絵付けを行うことで実際に願いを込めるとい「用」の要素を行うことで、美術を身近に感じながら、作品制作で見方、感じ方を深める。	○工芸作品のもつ造形的な特徴、作品の素材や技法に関する知識などを理解している。(知)	○工芸の型を理解しながら、自分なりの表現を創造的に表そうとしている。	○工芸作品の技法や素材などに関心を持ち、工芸の良さを生かしつつ、自分なりの表現をしようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

卒業制作(平面)	9	美術の作品制作、鑑賞の活動を通して「自己」をみつめることができるということを再確認し、改めて自己表現に取り組むことで、これまでの美術、自己を捉えなおし、見方、考え方を深める。	○美術のさまざまな表現技法について理解し、適切に使用することができる。(知)	○自分なりの主題を生み出し、表現方法を工夫しながら創造的に表そうとしている。	○美術や「自己」に向き合い、表現する活動に取り組もうとしている。(表) ○様々な作品をみることで「他者」との違いに気づき、自分の見方を捉えなおそうとしている。(鑑)
----------	---	---	--	--	---